

午後に行われた芸術鑑賞会では、劇団「マグネットワールド」による演劇、「ニーナ」を鑑賞しました。戦中に埋められた地雷による被害が現在も続くカンボジアで、地雷の撤去をする人々と犬たちの物語です。劇団の方々の熱演に会場は引き込まれ、劇が終わったときには拍手が鳴りやみませんでした。

はじける部分、知的に考える部分、一体になる部分と生徒にとって充実した一日であったと思います。

今回「夢風」は6月2回目の発行となります。その理由は、6月のメインイベント、学校祭が行われたからに他なりません。全校生徒が熱く燃え、そして輝きました。本号ではその様子を完全版でお届けするとともに、ユネスコスクール加盟についてお知らせいたします。

* 夢風カラー版(PDFファイル)→ <http://www.toyotahigashi-h.aichi-c.ed.jp/>

* ご意見・ご感想(電子メール)→ yumekaze@toyotahigashi-h.aichi-c.ed.jp



ニュース News

1 学校祭【6/12 (火)、6/13 (水)、6/14 (金)】

① 第1日目 3年生のクラス発表、文化部の舞台発表

6月12日から14日にかけて、学校祭が行われました。今年のテーマは「STORY～想いの数だけ生まれる奇跡～」。

学校祭1日目は、3年生によるクラス発表と、文化部の舞台発表でした。3年生の各クラス趣向を凝らした劇、演劇部のユーモアとシリアスの同居する演技、吹奏楽部の心揺さぶる演奏、合唱部の透き通る歌声に、観客席は心動かされ自然と拍手が沸き起こりました。

3年生の演劇は、手作りの衣装、道具類など各クラスそれぞれの工夫が見られ、学校祭に向けた情熱の大きさが感じられました。文化部の各発表も熱意あふれ、日々の部活動での成果が感じられる発表でした。最上級生のすばらしい発表は、下級生の今後の活動に影響を与えるものとなりました。



② 第2日目 クラス・文化部・委員会・有志発表、芸術鑑賞会

学校祭2日目は、1、2年生によるクラス発表と、文化部、委員会の発表で幕を開けました。どの発表も工夫されていて、あちらこちらから楽しげな生徒の音が響く、活気あふれるものでした。また昼には、野外ステージで有志による発表もありました。野見小学校の児童とJRC部によるきらきらとしたハンドベル演奏を始めとして、歌にダンスにファッションショーと、有志発表はバラエティに富んだものとなり、会場は大いに盛り上がりました。



③ 第3日目 体育的行事



学校祭3日目は、青・黄・紫・緑・赤・橙の六色に分かれた3、2、1年生混合団で行われる、体育的行事でした。この日の始まりは各団による行進です。気迫とやる気に満ちた凛々しい姿が印象的でした。そして1種目めの矢作川下りでいきなり橙団が大会新記録を出し、一気に会場は盛り上がります。1500メートルリレーでは赤団が新記録を出しました。各競技にそれぞれ団で一致団結し、走ったり、くぐったり、投げたり、応援したりとがんばっていました。



午後の部は応援合戦から始まりました。この日のために3年生を中心として練習を重ね、どの団も負けるものかという気迫と、情熱であふれていました。

また、それぞれ応援の小道具や編成などが工夫されていて、団のカラーが現れており、すばらしい応援合戦でした。その後、今度は青団がスウェーデンリレーで新記録を出し、生徒たちの底知れぬ力に圧倒されました。最後は部活対抗リレー。これは各部活のユニフォームを着て競うものです。ユニークな演出から、本気の戦いまで、楽しい時間が繰り広げられました。

全校生徒が活躍するすばらしい三日間でした。生徒たちには学校祭で得た団結力や、絆を大切に、これからの自分の物語を綴ってほしいと思います。



2 ユネスコスクール加盟

国連教育科学文化機関(ユネスコ)の理念に基づいた活動をする教育機関のネットワーク「ユネスコスクール」に、本校が県内県立高校として初めて加盟しました。本校は、地元イベントへの参加や矢作川沿いの森での環境学習を続けてきました。今回の加盟はそうした活動が評価されてのことです。本校は今後も、「地域連携」、「環境教育」、「国際理解」を柱に、生徒による主体的な活動を目指し様々な活動を行っていきます。